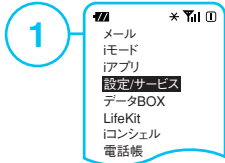


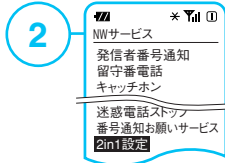
Bナンバーにかかわる操作方法

開始

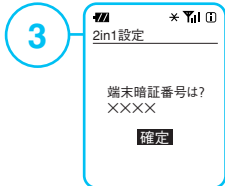
2in1をお申込み後、開始設定を行ってください。



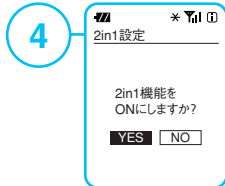
Menuボタンを押し、「設定/サービス」から「NWサービス」を選択します。



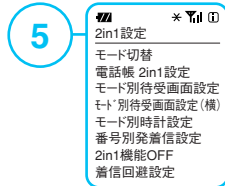
「2in1設定」を選択します。



端末暗証番号を入力し、「確定」を選択します。



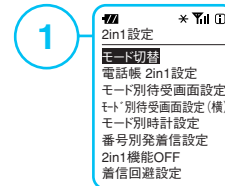
2in1機能をONにする／しないの選択を行います。



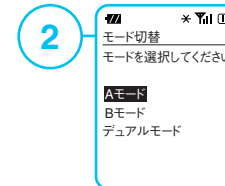
機能が開始されると、「2in1設定」メニューが表示されます。

※2in1ご利用時は必ずONに設定してください。ONに設定しないとモード切替やBナンバーでの発信など、2in1各種機能がご利用いただけません。
※2in1を停止する場合は「2in1設定」メニューから「2in1機能OFF」を選択してください。

モード切替



「モード切替」を選択します。



「Aモード」「Bモード」「デュアルモード」から利用したいモードを選択します。

ショートカット機能でモード切替がより簡単に行えます！

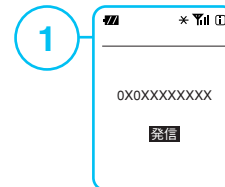
特定のキーを長押しすることで、モード切替が可能です。

※詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
※P-01C、906i・905i・904i・706i・705iシリーズなど一部機種は非対応端末です。

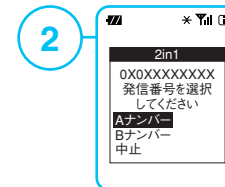
発信番号選択

AモードではAナンバーから発信、BモードではBナンバーから発信されます。デュアルモード*ではAナンバー・Bナンバーのどちらで発信するかを選択できます。

●デュアルモードで発信する場合<電話番号を入力し発信する場合>



かけたい相手の電話番号を表示し、「発信」を選択します。



「Aナンバー」「Bナンバー」から発信したい番号を選択します。

*リダイヤル・発信履歴・着信履歴画面では、AナンバーとBナンバーのどちらに該当するかをアイコンなどで表示します。
※リダイヤル・発信履歴・着信履歴からの発信は、それぞれ発信したナンバーからの発信となります。
※Aナンバー契約が災害時優先電話を契約している場合、Bナンバーの発信も対象となります。

●「2in1設定」メニュー 2in1機能を開始後、「2in1設定」メニューから各種操作を行います。

2in1設定メニュー画面までの操作
Menuボタン → 「設定/サービス」を選択 → 「NWサービス」を選択 → 「2in1設定」を選択 → 端末暗証番号を入力し「確定」を選択

2in1設定		
モード切替	Aモード・Bモード・デュアルモードのいずれかに切替	14ページへ
電話帳 2in1設定	各電話帳にどのモードで表示するか設定	15ページへ
モード別待受画面設定	モードごとに待受画面を設定	16ページへ
モード別待受画面設定(横)	Bモード・デュアルモードの時計表示を設定	
モード別時計設定	Bナンバーの着信音や番号表示を設定	16ページへ
番号別発着信設定	2in1機能の停止	17ページへ
2in1機能OFF	番号ごとに着信を規制	18ページへ
着信回避設定		

電話帳2in1設定

FOMA端末（本体）に登録した各電話帳に、どのモードで表示するかを設定することができます。



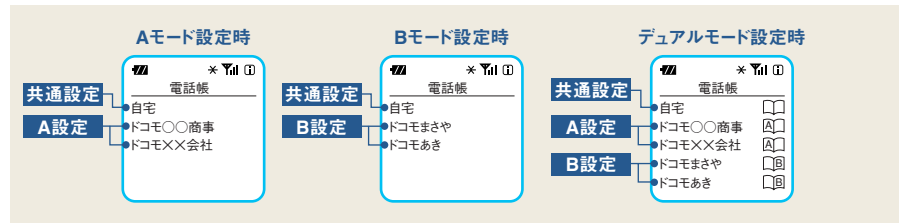
「電話帳 2in1 設定」を選択します。

A・B・共通から設定したい電話帳
を選択し、登録情報を入力します。

- ※電話帳の最大登録件数は各モードごとではなく、A・B・デュアルモードの合計となります。
- ※電話帳の「名前」「電話番号1」「メールアドレス1」が同じものを複数登録すると、ケータイデータお預かりサービス（25ページ）の更新を行った際、ひとつの電話帳に統合され、電話帳2in1設定についても、いづれかに統合されます。AモードとBモード両方で表示したい電話帳については、電話帳2in1設定の「A」と「B」それぞれに登録するのではなく、「共通」設定をご利用ください。
- ※一部機種では本機能をご利用いただけません。
- ※平成21年冬モデル以降（一部機種を除く）のお客さまは、電話帳一覧から設定が可能です。電話帳2in1設定の設定方法は、機種により操作が異なります。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

各モード設定時の電話帳画面表示イメージ

※画面は実際とは異なります。



	Aモード	Bモード	デュアルモード
A設定	電話帳・名前変換を表示	電話帳・名前変換を表示しない	電話帳・名前変換を表示
B設定	電話帳・名前変換を表示しない	電話帳・名前変換を表示	電話帳・名前変換を表示
共通設定	電話帳・名前変換を表示		

※名前変換とは、発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳との照合により、各番号・各アドレスが登録されている電話帳の名称に変換して表示する機能です。電話帳2in1設定と異なるモードをご利用中の場合は、リダイヤル・発信履歴・着信履歴、受信メールなどの名前変換は検索対象外となります。

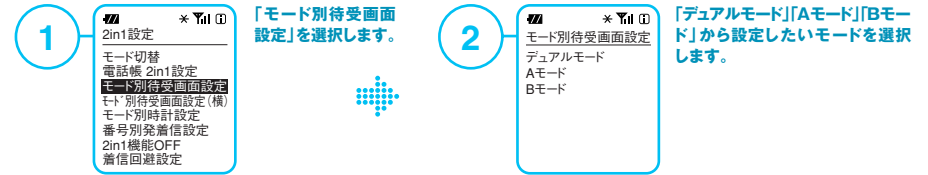
電話帳新規登録時のデフォルト設定

	Aモード	Bモード	デュアルモード
電話帳新規登録（手入力）*	A設定	B設定	A設定

*他のFOMA端末（赤外線受信など）、microSDなどの外部メモリ、ドコモUIMカード（FOMAカード）からの1件の登録を行う場合も同様です。全件の登録を行う際は、送信元の設定に従います（送信元で「A」設定の場合は、送信先の「A」設定に登録する）。送信元が非対応端末の場合は、すべて「A」設定に登録されます。

モード別待受画面設定

モードごとに待受画面を設定できます。

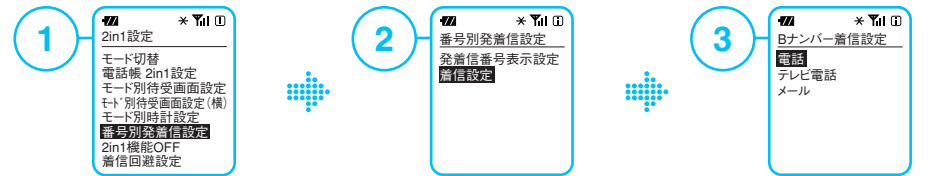


※きせかエッセルをご利用いただいた場合、待受画面、着信音に関してはAモードのみの変更となります。

※一部機種では本機能をご利用いただけません。

※平成21年冬モデル以降（一部機種を除く）のお客さまは、メニューの待受画面設定から設定が可能です。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

Bナンバーの着信音設定



「番号別発信音設定」を
選択します。

「着信設定」を選択後、「Bナン
バー」を選択します。

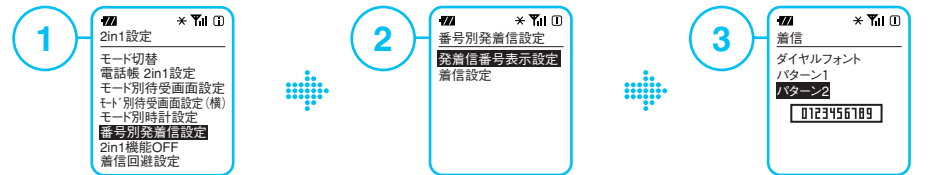
「電話」「テレビ電話」「メール」の
いずれかを選択し、着信音を選びます。

※一部機種では本機能をご利用いただけません。

※平成21年冬モデル以降（一部機種を除く）のお客さまは、メニューの着信音設定から設定が可能です。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

発信時・着信時などの番号表示設定

Bナンバーの発信着信を識別するために、画面に表示される電話番号や登録名の文字フォントを設定することができます。色を変えたり、文字の種類が選べるので、どのモード中であってもBナンバーの発信着信であることがわかります。また、発信履歴・リダイヤル画面などでも同様に表示されます。

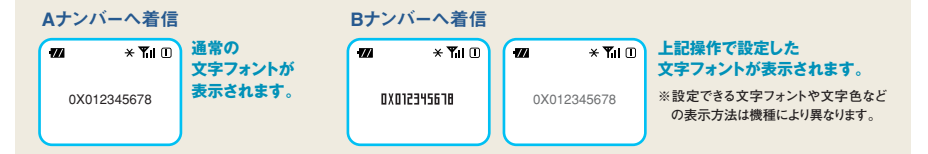


「番号別発信音設定」を選択します。

「発信音番号表示設定」を選択後、
「Aナンバー」「Bナンバー」から
設定したい番号を選びます。

「ダイヤルフォント」「文字色」
を選択後、設定したい文字の
種類や色を選びます。

画面表示例



●メニューを表示させるまでの操作手順は、機種によって異なります。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。●画面は実際とは異なる場合があります。

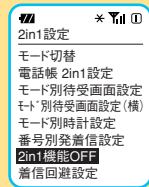
自分の電話番号を確認するには？

メニュー + 0 ボタンの操作で自分の電話番号を確認することができます。Aモード中はAナンバーを、Bモード中はBナンバーを表示します。デュアルモード中は「切替」を選択すると、Aナンバー、Bナンバーが切替わり表示されます。

※2in1設定をONのままドコモUIMカード（FOMAカード）を入替えてもBナンバーの情報は消えないので、ご注意ください。
※機種により操作が異なります。

自分の電話番号などプロフィール情報を個別に管理できます！

自分の電話番号（マイプロフィールなど）をAモード、Bモードで個別管理が可能です。デュアルモードでは、どちらの電話番号も確認・編集することができます。



2in1機能を停止するには？

「2in1設定」から「2in1機能OFF」を選択します。
2in1機能を停止する場合は「YES」を選択します。

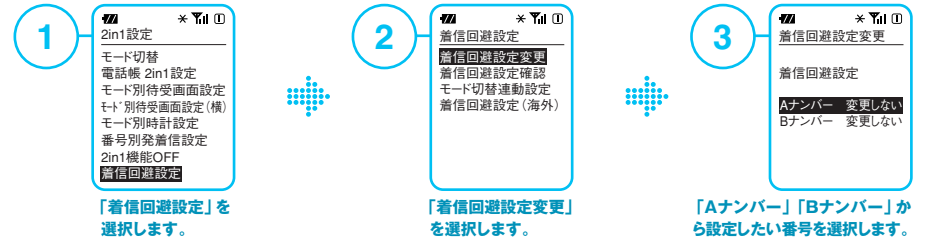
※2in1機能停止中でも基本使用料はかかります。
※2in1機能を停止にしても、Bナンバーは着信します（一部の機種を除き、Aナンバー、Bナンバーのどちらへの着信であるか区別はできません）。
※2in1機能を停止にしても、着信回避機能は停止されません。



着信回避機能の設定

●端末画面からの操作

※SH706i・D705i・F705i・SH705i・D705ipおよび904iシリーズのお客さまは画面からの操作はできません。「ダイヤルボタン操作」をご覧ください。



②「着信回避設定」画面からできる操作

着信回避設定変更	Aナンバー、Bナンバーの着信をモードにかかわらず規制します。 ※「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、「停止」に切替える必要がある旨の確認画面が表示されます。
着信回避設定確認	設定状態が確認できます。
モード切替連動設定*	開始にすると、2in1のモード切替に連動して着信回避設定が自動的に変更され、デュアルモードではA・Bナンバーが、AモードではAナンバーのみが、BモードではBナンバーのみが着信します。 便利!
着信回避設定（海外）	海外でAナンバー、Bナンバーの着信回避設定が行えます。 ※「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、「停止」に切替える必要がある旨の確認画面が表示されます。

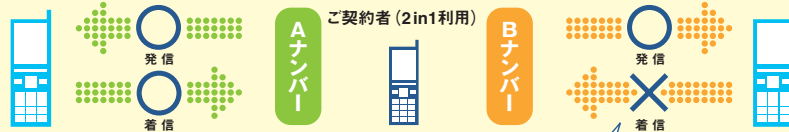
*「モード切替連動設定」開始時は、圏外ではモード切替ができません。

着信回避機能

着信回避機能では番号ごとに着信を規制することができます。

オススメ!

【例】Bナンバーの着信回避を開始設定にした場合



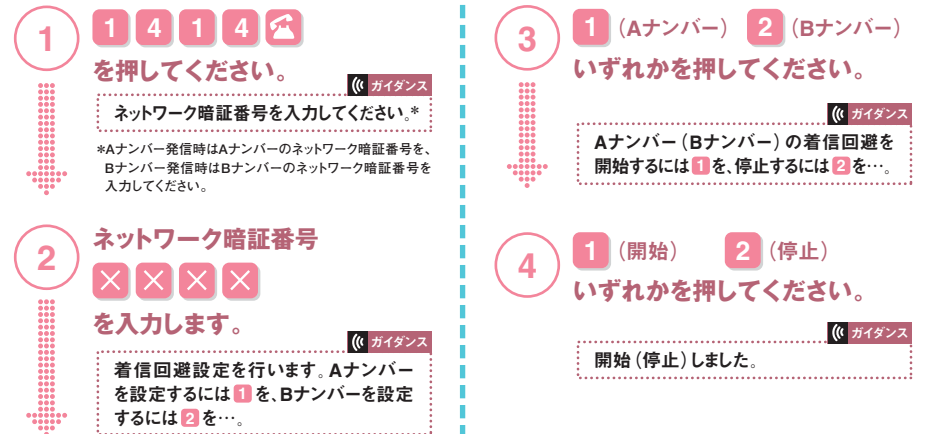
Bナンバーへは着信せず、電源OFF/圏外と同様のガイダンスが流れます。
また、留守番電話が開始されている場合は、留守番電話へ接続され、転送でんわが開始されている場合は、転送されます。

- ※本機能設定中に該当の番号に着信があった場合、着信履歴は残りません。「着信通知サービス」を設定していれば、SMSで通知されます。
- ※着信回避機能を設定中でもメールやSMSは受信します。
- ※Bナンバーからの「0000（警察への緊急通報）」「0009（海上での緊急通報）」「0009（消防・救急への緊急通報）」への発信は、Bナンバーで発信してもAナンバーが着信側に通知されます。そのため、着信回避機能などでAナンバーに着信しない設定している場合、警察、消防および海上保安庁からの折り返しの電話がかかってきてこれらの電話を着信できるよう、緊急通報を行ったときは、次の各機能の設定を自動変更いたします。
- ・着信回避機能で、Aナンバーを「着信しない」設定している場合は、緊急通報時、「着信する」設定に自動変更します。
- ・Aナンバーの留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定し、サービスを「開始」している場合は、緊急通報時、「停止」設定に自動変更します。

●設定方法は、18ページをご覧ください。

●ダイヤルボタン操作（無料）

※着信回避設定変更・確認のみご利用可能です。
※デュアルモードではAナンバー・Bナンバーのどちらで発信するかを選択できます。

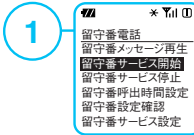


※他の電話機からの遠隔操作でも設定が行えます。
FOMA、一般電話、NTT公衆電話から「着信回避機能」を設定する場合は、0000-8100-1410002（無料）へ発信し、Aナンバーを指定して操作を行ってください。

留守番電話サービスの設定

Aモード中はAナンバー、Bモード中はBナンバーの設定となります。
デュアルモード中は、Aナンバー、Bナンバーそれぞれの設定が可能です。

● 開始 (例:デュアルモードの場合)

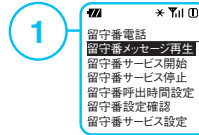


「留守番電話」メニューを表示させ、「留守番サービス開始」を選択します。



「Aナンバー」「Bナンバー」いずれかを選択します。

● 留守番電話再生 (例:デュアルモードの場合)



「留守番電話」メニューを表示させ、「留守番メッセージ再生」を選択します。



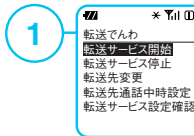
「Aナンバー」「Bナンバー」いずれかを選択します。

※A・Bナンバーそれぞれ開始/停止、応答ガイダンス(音声・テレビ電話)、不在案内の応答ガイダンス、発信者番号案内、伝言メッセージの再生ができます。上記の端末画面からの操作以外にも、4桁の番号へ発信するダイヤルボタン操作での設定も可能です。※伝言メッセージはA・Bナンバーそれぞれ40件(音声電話20件+テレビ電話20件)まで保存可能です。※着信通知サービスのSMSは、番号ごとに通知します。※呼出時間の設定は、A・Bナンバー共通です(個別に設定することはできません)。

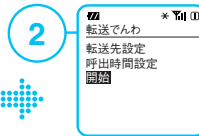
転送でんわサービスの設定

Aモード中はAナンバー、Bモード中はBナンバーの設定となります。デュアルモード中は、Aナンバー、Bナンバーのいずれかを選択します。ただし、転送先、呼出時間、ガイダンスの有無などの各種設定は、A・Bナンバー共通となります(個別に設定することはできません)。

● 開始 (例:デュアルモードの場合)



「転送でんわ」メニューを表示させ、「転送サービス開始」を選択します。



「開始」を選択します。



「Aナンバー」「Bナンバー」いずれかを選択します。

※A・Bナンバーそれぞれ開始/停止、設定状態の確認ができます。左記の端末画面からの操作以外にも、4桁の番号へ発信するダイヤルボタン操作での設定も可能です。

※留守番電話サービス、転送でんわサービスのご契約者が新たに2in1を利用する場合、Bナンバーの留守番電話サービス、転送でんわサービスの開始/停止はAナンバーの設定と同様になります。2in1ご利用中の方が新たに留守番電話サービスをご契約いただいた場合、Bナンバーの留守番電話サービスは開始となります(転送でんわサービスが開始の場合は、転送でんわ設定が優先されます)。2in1ご利用中の方が新たに転送でんわサービスをご契約いただいた場合、Bナンバーの転送でんわサービスは停止となります。

●留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定は、他の電話機からの遠隔操作も行えます。ただし、遠隔操作を行う際、「Aナンバーで発信しBナンバー指定の操作」および「Bナンバーで発信しAナンバー指定の操作」はできません。●Bナンバー指定の遠隔操作を行う場合には、事前にBナンバー契約のネットワーク暗証番号の設定が必要です。

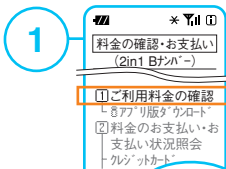
留守番電話サービスなどネットワークサービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。

Bナンバーの料金案内

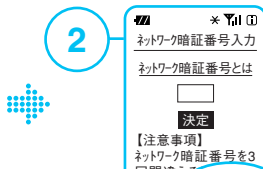
Bナンバーのご利用料金がiモードの料金案内サイトで確認できます。

※事前にBナンバー契約のネットワーク暗証番号の設定が必要です。

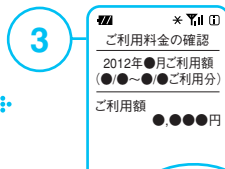
① 料金の確認・お支払い(2in1 Bナンバー)画面までの操作 | iMenu → お客様サポート → 料金確認・診断 → 料金の確認・お支払い → 2in1 Bナンバーの確認はコチラ



「①ご利用料金の確認」を選択します。



Bナンバーのネットワーク暗証番号を入力し、「決定」を選択します。



Bナンバーの請求予定金額が表示されます。

※iアプリ版ドコモ料金案内はご利用いただけません。